



令和8年2月24日

福生市 定例記者会見資料

資料 3-5

～東京都初！学びの多様化学校の分校を設置し不登校支援の充実へ～

福生市立牛浜もくせい中学校を開校します

市は、令和2年度に不登校特例校(分教室型)「福生第一中学校7組」を設置し、不登校の生徒の学びの場を確保してきました。

このたび、多様化する生徒一人ひとりのニーズにより一層応えとともに、学習環境の改善および充実を図るため、学びの多様化学校「福生市立牛浜もくせい中学校」を開校します。つきましては、次のとおり、開校式・転入学式を挙行政いたします。

■分校の概要

【名称】福生市立牛浜もくせい中学校

【設置場所】福生市立福生第三小学校北側新校舎2階（牛浜162）

【定員】20人

■開校式・転入学式

【日時】4月7日（火）午後2時～

【場所】福生市立牛浜もくせい中学校

■在籍生徒見込数（2月13日現在）

新1年生			新2年生			新3年生			合 計		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1	4	5	2	3	5	0	3	3	3	10	13



福生市立牛浜もくせい中学校



教室

【問合せ】教育支援課（森田） TEL042-551-7700

～自分らしく生きていける～

これまで7組の玄関先で生徒たちを癒してくれた「木犀」

その甘いフローラルな香りで人々を癒す「木犀」のように
癒しと安らぎを与えてくれる居場所になるように
様々な種類の花が異なる色や特徴をもつ「木犀」ように
全員が個性を輝かせられる居場所になるように

福生一中7組は「牛浜もくせい中学校」へ生まれ変わります。

学びの多様化を実現するための三つの特色

特色 01

学習内容の充実



一人一人が学ぶ意義を実感し、夢や希望をもって卒業できるよう、カリキュラムを編成します。

特色 02

登校しやすい環境整備



登校への心理的負担を可能な限り軽減するための生活時程や環境を整備します。

特色 03

安心を育む体制整備



一人一人の目標や抱える困難さに対応できるようにサポート体制を整備します。

特色 01 学習内容の充実

通常学級にはない教科を2教科新設し、みらいコネクト（総合的な学習の時間）と合わせた

三つの柱を学びの中心に据えます



自分らしさを見付ける

自分探究



自分と向き合い、伸ばす

個別学習



世の中とつながる

みらいコネクト

（総合的な学習の時間）

特色 01 学習内容の充実



自分らしさを見付ける

自分探究

自分の好きなことや興味をもったことについて、問いを立て、自分なりのやり方で自分なりの答えにたどり着く力、**自分自身を理解し、生涯にわたって自分らしさを発揮し、よりよく生きる力の育成**を目指します。



私はすぐに周りの目を気にしたり、悩んだりしちゃうんだ。その度に落ち込んでしまう自分を変えられないかな？

自分自身に向き合う



好きなことって言われてもなんか難しいな。今はそんなものはないかな。そういえば小さいころは何にハマっていたんだっけ・・・？

まず好きなことを探す



僕は歴史が好きで特に戦国時代が好きなんだ。武将も好きだけど、お城も好き。最近テレビでもお城の特集やっていたな。

好きなことを追求する



うちのお母さん、最近K-POPにはまっているんだ。そういう人周りにもたくさんいる。何が魅力なのかな？

気になっていることを調べる

特色01 学習内容の充実



自分と向き合い、伸ばす

個別学習

自分自身に不足している内容を補ったり、得意な部分をさらに伸ばそうとしたりするなど、**自分自身と向き合い、学習を自己調整する力の育成**を目指します。



今日の理科の授業で分からないことがあったな。次の授業でも使いそうだから、先生にもう一回聞いてみよう。

その日の復習をする



自分は数学が好きで、もっともっと勉強したいんだ。授業でやらない難しい問題にもチャレンジしてみたい！

得意をさらに伸ばす



授業とは関係ないけど、小学校では歴史の授業ほとんど受けていないんだ。中学校の学習についていけるか不安だから。

未学習の内容を補う



これまで漢字の学習を頑張ってきたんだけど、だんだん覚えるのが楽しくなってきたんだ。だから検定にチャレンジしようかな。

検定等にチャレンジする

特色01 学習内容の充実



世の中とつながる

みらいコネクト (総合的な学習の時間)

国際理解、情報、環境、福祉・健康などの現代的な諸課題と自分自身の関わりを見付け、**社会とのつながりを自覚し、仲間とともに問題を解決する力の育成**を目指します。

指導の際は、当該学年の各教科の学習内容と関連付けて行い、学びを深めていきます。

(例1) 地域活性化プロジェクト



(社会的側面)

福生市の主産業である酒造りを取り上げ、産業が興された歴史に着目し、今後の福生市の発展について探究

(理科的側面)

地域の植物の観察、多摩川で見られる堆積岩の観察、河岸段丘の観察等を行い、地域の特色を調査

(家庭的側面)

地域の食材を活用して和食を調理

(例2) 住み続けられるまちづくり



(社会的側面)

産業革命や以降の世界の発展、それに伴う気候変動等の環境問題の発生を踏まえ、SDGsの視点を含めて探究

(理科的側面)

エネルギー問題や、天候、気候変動などの理科的な視点で地域を捉える活動

(技術的側面)

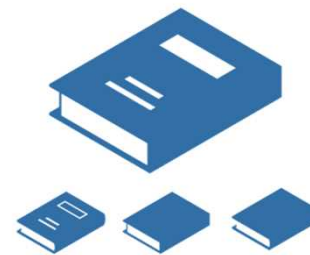
これからの社会とエネルギー変換の技術や情報技術

特色01 学習内容の充実

三つの柱



- ◆意義を実感する。
- ◆学びを深める。
- ◆興味・関心を高める。学ぶ意欲を高める。
- ◆得意分野を一層伸ばす。



- ◆学びを発揮する。
- ◆学びを自身の将来や社会と結び付ける。
- ◆未学習の内容を補う。
- ◆削減された指導内容を補う。

各教科等の学び

三つの柱と各教科等の学びの往還を図ることで、学びの多様化を実現します。

特色02 登校しやすい環境整備

通常学級と比較し、大幅に授業時数を削減し、ゆとりある生活を実現します。

		標準時数			分校授業時数		
		1学年	2学年	3学年	1学年	2学年	3学年
各教科	国語	140	140	105	70	70	70
	社会	105	105	140	70	70	70
	数学	140	105	140	70	70	70
	理科	105	140	140	70	70	70
	音楽	45	35	35	35	35	35
	美術	45	35	35	35	35	35
	保健体育	105	105	105	105	105	105
	技術・家庭	70	70	35	35	35	35
	外国語(英語)	140	140	140	70	70	70
	小計	895	875	875	560	560	560
道徳科		35	35	35	35	35	35
総合的な学習の時間		50	70	70	70	70	70
特別活動		35	35	35	35	35	35
自分探究(旧プロジェクト)					70	70	70
個別学習					70	70	70
総計		1015	1015	1015	840	840	840

- ▶ 通常の学級と比較すると各教科等は315時間減じ、三つの柱の時間数を多く(210時間)確保しています。
- ▶ 総計では175時間を減じています。(授業コマで言うと週5コマ分です。)
- ▶ 学習内容は通常学級で学ぶ内容と同じです。
- ▶ 授業時数を減じた中であっても、学習内容を調節したり、他教科と関連付けたり、指導方法を工夫したりすることで、学習指導要領に示されている目標の達成を目指します。

特色02 登校しやすい環境整備

1日の授業時数を制限し、登校への心理的負担を軽減します。

		月	火	水	木	金
	9:00~9:10 (10分)	学活				
	9:10~9:20 (10分)	保健体育				
1	9:30 ~ 10:15 (45分)					
2	10:25 ~ 11:10 (45分)					
3	11:20 ~ 12:05 (45分)		総合			自分探究
	(60分)	給食・昼休み				
4	13:05 ~ 13:50 (45分)		総合	道徳		自分探究
	(25分)	終学活・清掃				
5	14:20 ~ 14:45 (25分)	個別学習		(下校)	個別学習	
	14:50 ~ 15:15 (25分)	放課後自主活動			放課後自主活動	

▶ 1時間の授業時間は、小学校と同様の45分間を予定しています。45分間の授業は1日4コマで設定する予定です。

▶ 登校時刻は午前9時で、ゆとりをもって登校することができます。

▶ 保健体育の1時間、個別学習、学活は1時間の授業を複数回に分割し、モジュールとして実施します。

▶ 個別学習が終了したら下校になります。さらに活動を行いたい人向けに、放課後自主活動を設定しています。参加は任意です。

特色02 登校しやすい環境整備

様々な学びの場を用意し、その時の心の状態に合わせた対応を実現します。

用途に応じて広さを調整できる教室（イメージ図）

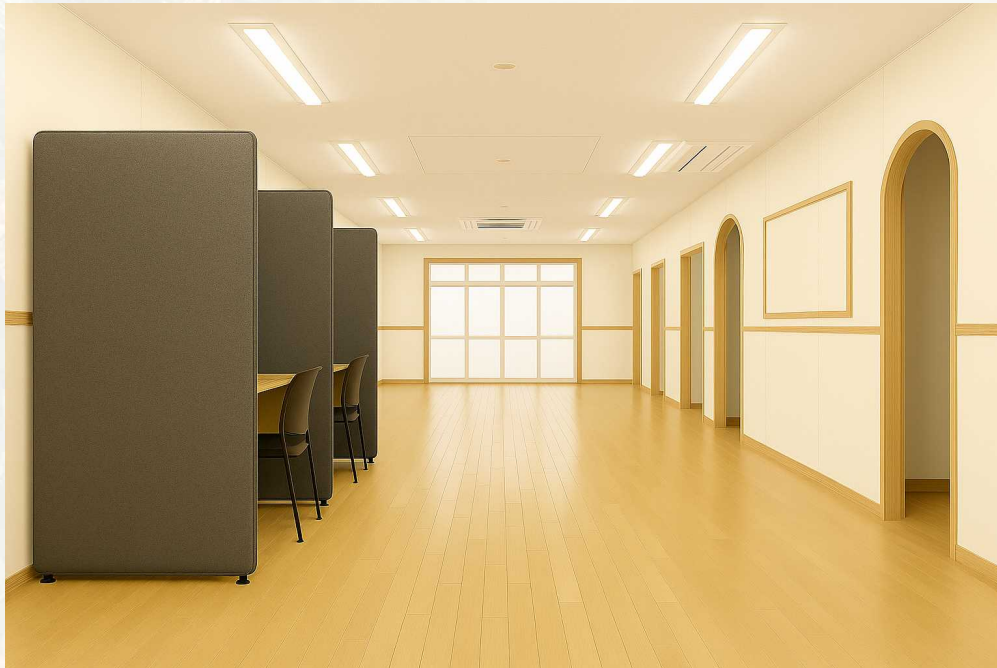


教室はスペースを区切り
少人数での学習に対応できます。

特色02 登校しやすい環境整備

様々な学びの場を用意し、その時の心の状態に合わせた対応を実現します。

一人の空間を確保する個別ブース
(イメージ図)



リラックスできる和室・メディアセンター
(イメージ図)



特色03 安心を育む体制整備

一人一人が安心して生活できるよう、支援体制を充実させます。

9名の教員が一人一人の状況に合わせて臨機応変に対応します。



生徒一人一人の支援計画を作成します。



どの先生もよい先生だけど、その中でも特に相談しやすい先生、信頼できる先生が、きっと見付かります！



各教科に専門の先生がいるので、個別学習の時間は苦手な教科でも手厚くサポートします！



生徒の実態や保護者の願いに応じた自立支援シートを作成し、社会的自立に向けた支援を行います。



定期的に面談を行い、本人、教員、保護者で今後の目標や支援の方針を確認します。三者が同一步調で進みます。

特色03 安心を育む体制整備

一人一人が安心して生活できるよう、支援体制を充実させます。

常時オンライン授業に対応します。



「どうしても家から出られない」。そんな時でも学習を継続することができます。いつでも対応することができます。



例えば、健康状態を観察したり、何気ない会話をしたりなど、学校とのつながりを維持できるような対応もします。

週に1回、カウンセラーを派遣します。



保護者も利用することができます。他校と比較すると格段に予約が取りやすくなっています。



先生には相談しにくいことも、気軽に相談できます。心理的なサポートを優先して行います。

令和8年2月24日
福生市教育委員会

牛浜もくせい中学校では、すべての生徒が夢や希望を見つけ、
自分の足で一步踏み出すことができるよう、一人一人を支援します。